龍太郎王

第八編

へ13
3699
8

門へ13
3699
8

龍王太郎
英雄譚八編 上巻

嘉永三年庚戌春
藤慶梓

小三馬作
豐國畫

門人 国貞画

東方の陽氣と請し日本も江戸も共ふ是震木の位ありさまぶ木の成數八
る三も木の生數ゆゑ生々不易の數るりと狩故ふ三種の神寶圖を八道
官と八省八百万神自ら備る皇國の長久ふ治る神恩で三ケの津中ゆも
勝れし大江戸の八百八街も三千町と暗る町並漸ふ賑ふ支物敏繁昌そそ倩
若ふ泳と小せろ小くふ支もなられどその木德を地理ふ備へ地名を号け
江戸の水と制衣る庇隠で拙作の丈相應ふ賈るのるゝん木の位より氣象よ
川八編をくと馬ゞ店へ歩くの八とこの縁故因縁ありつけ作
の水作と見くまおれが造ひ合せて八三見一無頭早急の催促ゑ書賈ゞ筭盤
ばくふ三と八合せて三八二十四孔の醜婦ハ玉妓ぐけの賞味ありとのとめ給ふも
ありとうきけばさそさのめでもるい智恵代衣と三文やども絞りざしへの字ゆ
くはぐりと嘉永三歳の新版ゆせどやと版元ゞ八天狗働き今茲二年の八朝
梅魁開く天明八声の鶏の生りくるる頃
嘉永三年庚戌孟春發兒

式亭小三馬戯題

天龍神女
姿と鄙
女ふれ
大江連
政と殺
圖

大江
巴門
之助
煙政
邑嵜藤次
繁治

貢妻
晩稲

いつあさ
まだ
うちゐる
ゆどもれ
一夜だろれ
美とぐうん

倉積の女児
早苗

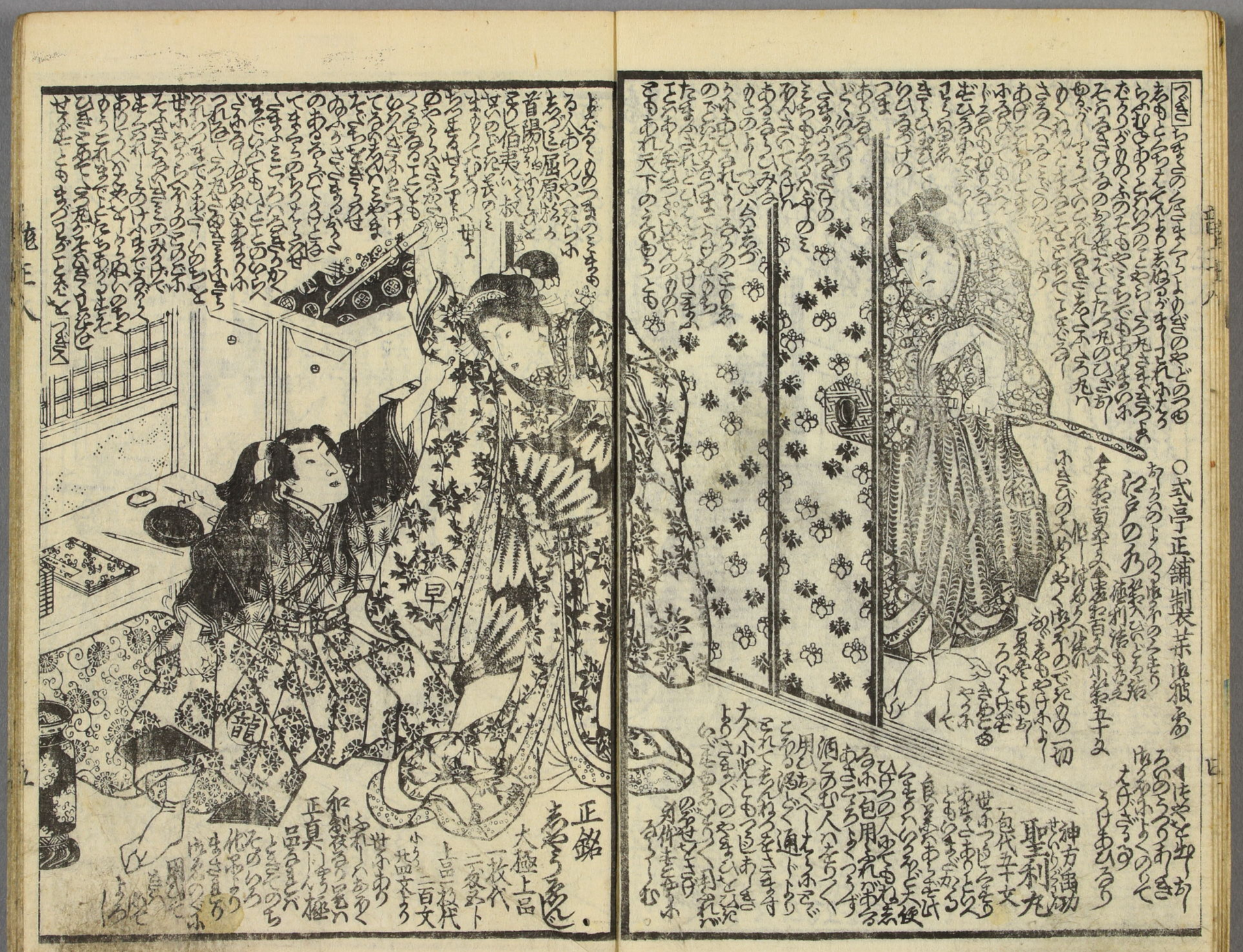
大江の
家長
花形部
義厚

大江の若君道若丸

行ゆく
かぎかくうも
ちちぢ死を
想ひ人
人形
ものの
この八

大江の細君
富の前

奸臣
邑崎藤藏
敬林


つぎ
○式亭正舗制衣茶屋
聖利丸
神方通功
一包代五十文
正銘
大極上品
一枚代
二匁五分
上品一枚代
二百文
早
龍

◆天りう神女ふ
まりまきをもこそ
のゆめをきの
ちりふりまふ
ゆりのわ

豐國画　小三馬作

嘉永三庚戌春新刻目録

七草四郎
若菜孃子　ちらしひ譚　初編　柳下亭種員作　四編迄　一陽齋豐國画

繪本川中軍鑑　初編　玉蘭齋擇　五編迄　五雲亭貞秀画

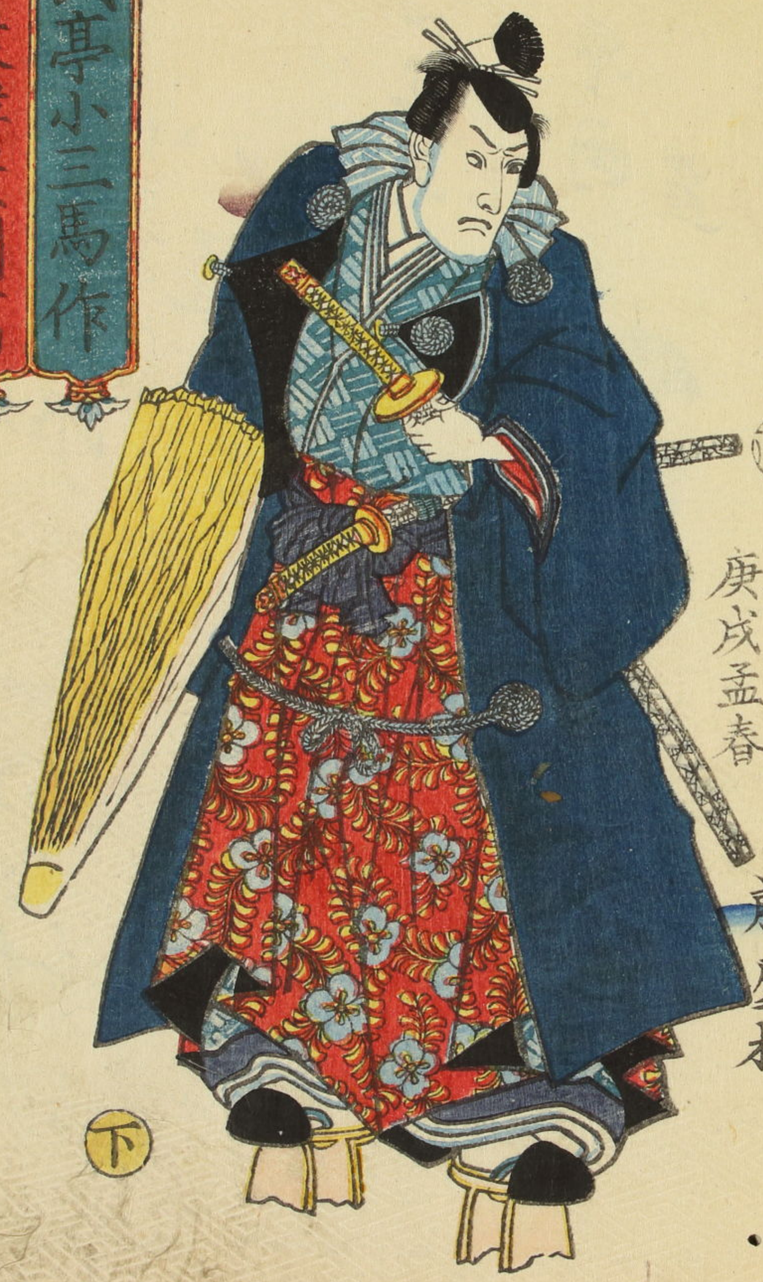
名取草双蝶々　前編　柳下亭種員作　後編　一陽齋豐國画

牡丹園女子莊子　初編　笠亭仙果作　二編　香蝶樓豐國画

書林錦繪卸店　通油町　藤岡屋慶次郎　版

武亭小三馬作

香蝶樓豊國畫



嘉永三年
庚戌孟春

藤慶梓

下

絵王太郎八幡下卷

小三馬 作

豊國 画

嘉永二酉年
廣成堂
通油町
蔦屋吉
蔓屋平
板

そもく大江家ハ二人の長臣あり一人の花形ぎ者ぶう〜あつとそれ良くあつくゆうハあれどもまんのせいきつ一人ハむくさ花
ゑ名ゑ花ぎ日えぎとそかんきくあ名ちのゑせものゑりされど人とも武功ぐアそくまそれ大江どの先考君あんちのこゑ〜ゑりつくてまぐ〜ハいなり土岳士ろきの
らんかも山名お者の副れまゑりとて巴門の助ゑまぐこ弁君とよゑれ〜あんてゑりのこゑゑりれとあ人とも
よく補佐れ〜まぐく良策りゑゑくとたてまゑりハ小山名のゑりとも赤松をあゑゑり大江
ゑのこれゑりゑりゑくゑりゑりられとゑりゑどハ北国の假伯まゑりゑりゑさの重職ゑゑくを
ゑゑりぐゑりハいせのきんぐゑりゑゑりめ家老ゑ功ゑりゑそれゑ君ゑゑのちゑ
ゑりくゑりゑりハひゑりゑりゑりゑりれど
ぎゑりぶハひゑりゑりゑりゑりれど
ゑりゑりゑりゑり

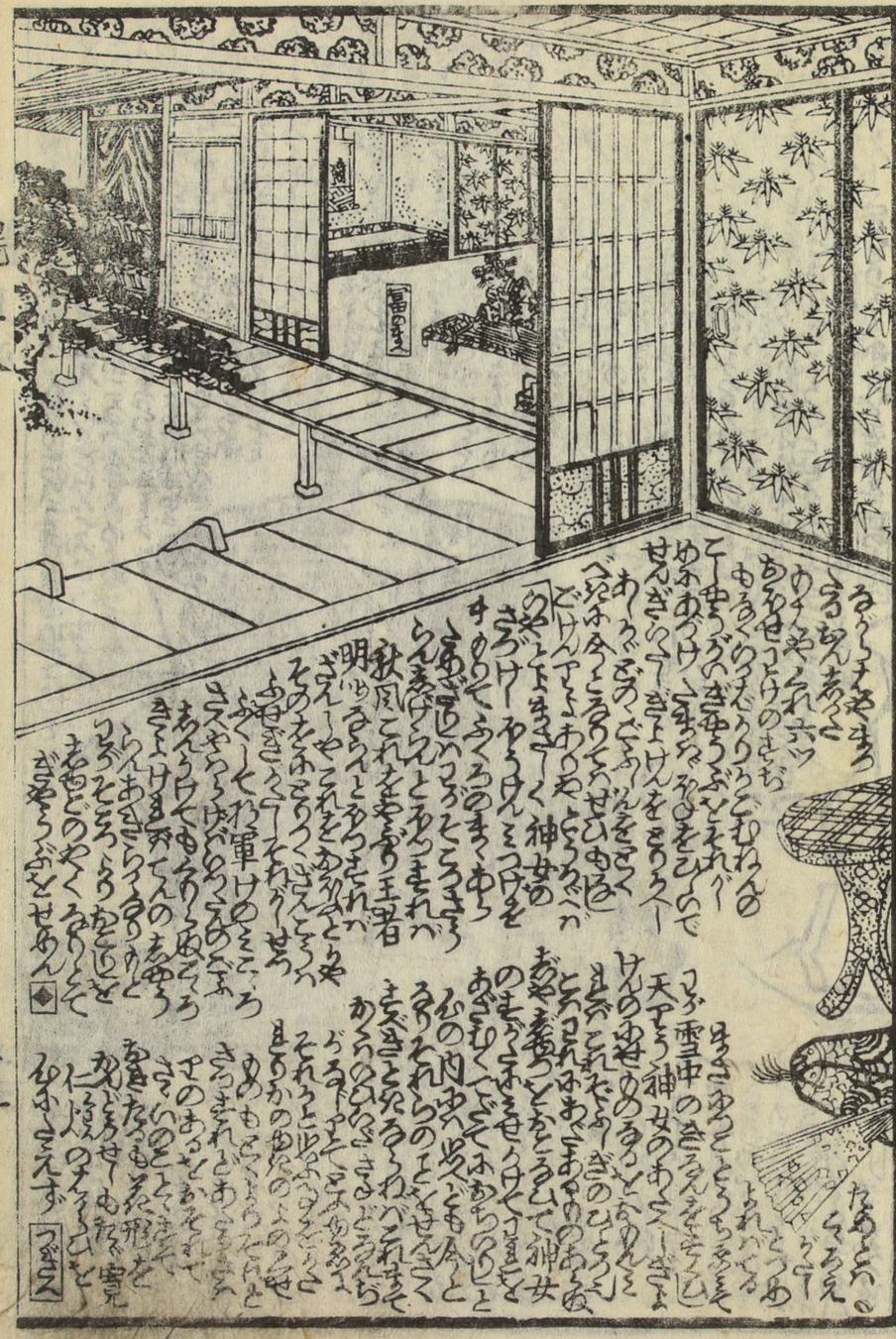
○式亭家制茶湯
小児金陽丸
土産人 大包一百文 小包一百文

あの蒙い漢土小児科の祖楊氏の秘方より
第一五ゑんきゑうふうを
すべめとして小児の
きうびゑうふきぐれ
てまーあり
大人まやつえ
ぎうのきうろ
婦人の産後病
さんごのひたつけ
あとなーこのぐ
こゆわそくざふ
あるーあ。きうけ
ぐけーきて
急病ふたるて
ゆうあり実ふ
かれ一家相伝
ひるれるきー小児の
めうやくより

清浄極製 天人香
一袋代二百五十文
一包代百五十文
この香の名
たゆ人の別称
正真まやつ
うやうふ
丁子ひの別称
名れが年そうせ
ゆうとふやのえり
つふふとうふ
まれふるも
代表のうり
化粧ハ一
夜ふとも
ふきたう
ふるを白
くつく

○かくるる花
ゆふあふあそ
よ女ふもう
ふるるいろひ
あるるのち良
よく考ひゆき
えるるるふい
たるるふゆき
りるとそ
せるふく
とるるるとと
みるるるえい
ゆるるるふい
るるるゆて女
きるえもふる
やるともるえ
るるきるひと
くるやとふる
るるるるるて
ふるるるるる
ふるるるるる
るるるるるる
るるるるるる
る

大江



○本町庵精製
濃中不化粉
あのまぬの
代五十文

代百文 代百五十文

代五十文 三十二文

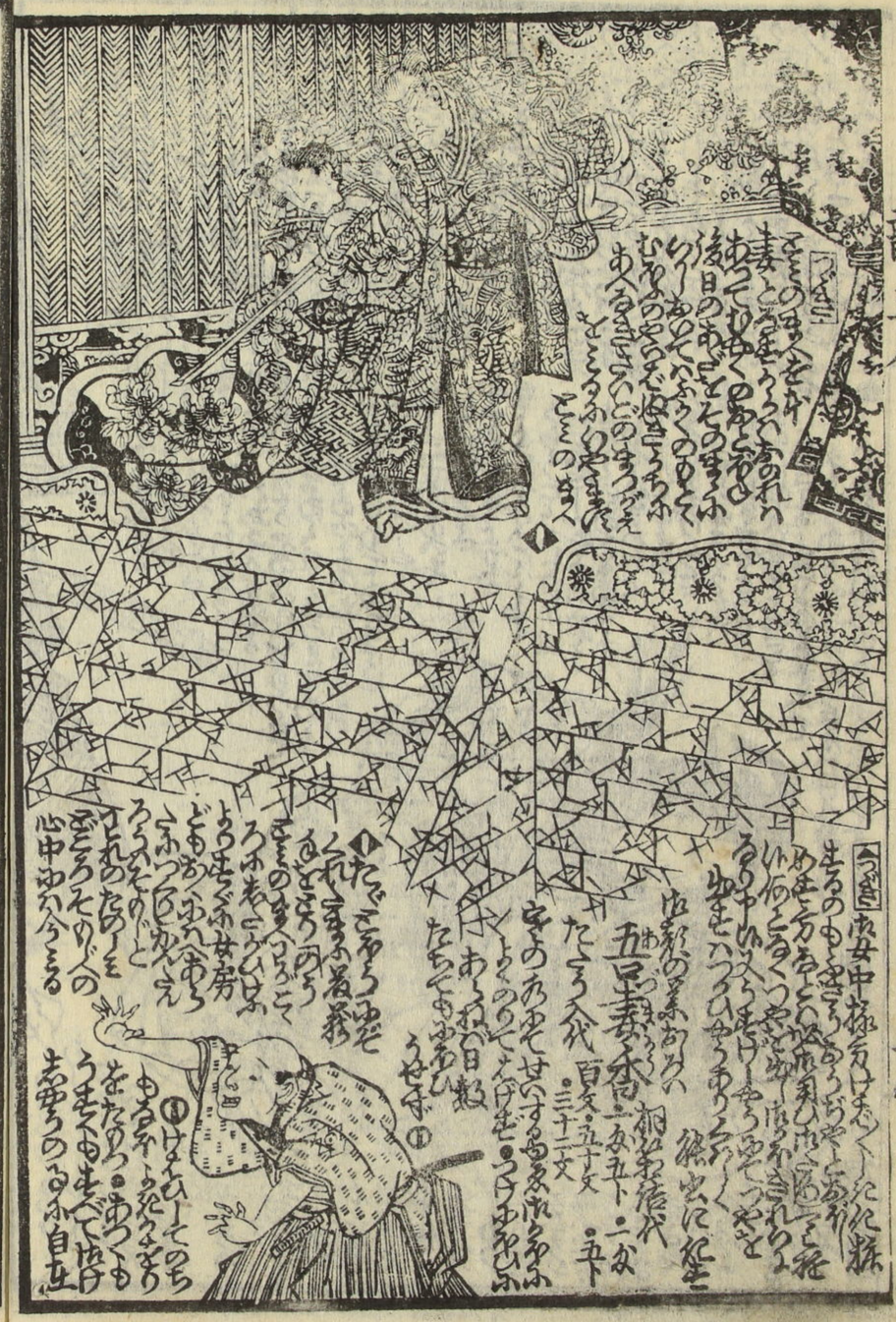
代百五十文

紅毛奇方
姉のひ
彩代五十文

婦人三養湯

つぎ　五日のひのくるまでもやうんそんもやうもろへるでも
かるまあいのそれがなのこさくれてこそるさくら
のそむえんぐんてんぐいもきそうまんぞくのまる
ところきえめのこくけんうるぬとけんいとんを面の
あくだてこそるとけんいとんを面の
ゆくてどうちんのまけいちろ
ともどうせをくるふ
けん相えまーまを
どうこうぶいどき
小人どうどうさく
あんぎもうき
ことりくのぎん
けんをきうろ
おこるいく
ゆどこそ世の中
こねもさいこ
せっぷくぶのそれい
いこいまこのまけーうぶかくご
やこのまくまりしつけあ
むさぐこちもむのん
かこひっとっきうかこる
とんやこくくこのこまくらちあ
とふあれどきせうくむのんのくこひっあさ
かこあもこちきうくこまこうこちあも
うこたるここのまくまくふまりてこのまふ
たものんの助ぐまくふまりてこのまふ
かれもこれけどこうちふくてあももこ
ぐふこれわこうこれ彩たちこう
きせうくるまでのこれぎやこれま

つぎ　さんご。ちの。
さけの妙薬。
ちごの中ふ
男四五人中
るらどの
月ひてこ
つきれ
中でもこ
まちこ
諸薬ふ
但一茶料大包百文
小包五十文がん百三十二文
仙傳　助効油　大貞代辛文
人参　小貞代先四文



朝顔

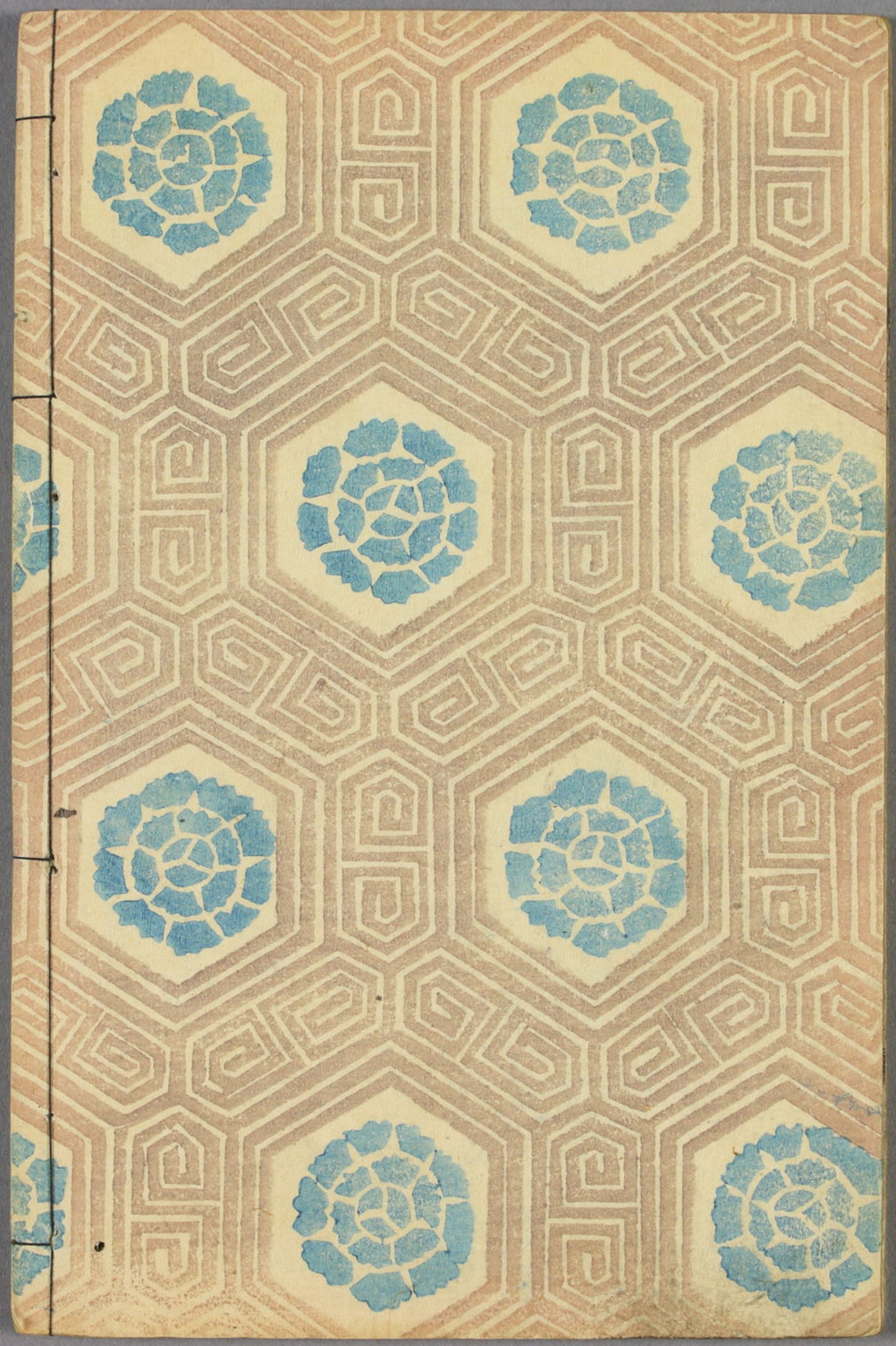
嘉永三庚戌歳正月新刻目録

龍王太郎英雄譚 七編 八編 九編 一陽斎豊國画 式亭小三馬作

花白梅春風 小三馬作 國輝画

落佐江戸嬉笑 小三笑作 國輝画

御伽草我春歳玉 新乙亭 後員作

二人静 二人忠信 重長表千千櫻 香蝶樓 豊國画

書林錦耕 御店 江戸通油町 藤岡屋慶次郎